

第119号

こんにちは

みささ議会です

令和2 (2020)年

1月号



令和初の成人式
(令和2年1月12日)

主な内容

- 町長・議長 新春対談 2～3
- 議会構成 新体制に 4～5
- 常任委員会で慎重審査 6
- 議員6人が一般質問 7～13
- 議案の賛否・大好きみささ町 14

新しいことにもチャレンジする年に



町長任期中間を振り返って

司会 新年おめでとうございます。町長・議長新春対談ということで、はじめに、松浦町長に任期中間を振り返って重点に取り組まれたことや成果など、思いをお聞きます。

町長 第11次総合計画がスタートし、指針ができて計画的な町づくりの新たな意識や取り組みができたと思います。

懸案だった小学校統合が実現し、様子を見に通いましたが、すぐに仲良くなって学校行事や物事への取り組みも良くなったと感じました。

今までの課題や必要なことに一つ一つ取り組む中で大事にしたのは、皆さんに役場の仕事を知って、理解して、参加していただくこと、色んな形で子どもや若い人達や女性の意見を聞く機会が増えたことは喜ばしいことでした。

議長就任と前年までを振り返って

司会 清水新議長に抱負や前年ま

でを振り返っての思いなどをお聞きます。

議長 11月20日に議長に就任しまして、任期2年間に何を残すかが使命だと考えていますが、議員定数について一番に、特別委員会設置を議会運営委員会にお願いしました。大きな意味での議会改革を含め、慣例枠にとらわれない議会、議論や政策が提言できる議会、それぞれの議員が十二分に仕事ができる新しい議会運営方法が提案できればと思います。

観光資源の活用について

司会 三朝温泉は観光客が減少傾向で活気が今一つのように思います。建設中の熱気浴施設や、日本遺産の三朝温泉と三徳山など、観光資源活用や活性化策について伺います。

町長 国内人口が減る流れの中で国内旅行者は減っていますが、インバウンドは一昨年2万人を超え、韓国が減った昨年も前年並みが維持されており、長い目の観光

発信が必要です。

健康増進、病気予防に注力して、熱気浴施設を拠点に街づくりも並行し、観光の総合力を高める必要があるだと思います。

日本遺産は認定から5年経過し、改めてPR強化を考え、三徳山の「六根清浄」と三朝温泉の「六感治癒」の共通点を結びつけた印象強い発信の仕方でもう一度価値の見直しを考えてみたいと思います。

議長 今は「心」も観光資源の一つになって、昔のような団体客が減り、家族や個人とか、一人のお客様が増えた気がします。

特に20代、30代の女性目線の発信から流行が起こる感じがして、そこに柱を置いた発信をするべきかと思います。

町長 三朝温泉の役割は宿泊の時間が大事で、観光は中部周辺を楽しんでもらい、三朝温泉では癒しと翌日の元気を蓄える、身も心もホッとする場所であるべきだと思います。

人口減少対策について

司会 人口減少が進む予想ですが、今年度の出生数は30名に満たない状況で、高齢化率40%が目前です。少しでも人口減少をくい止める何らかの対策について伺います。

町長 常に考えていますが、出生率は毎年動くので経年観察が必要

ですし、子どもさんのある家庭が転入されることも割とあるので、出生率だけで子どもがずっと少ないと考えるのはどうかと思います。

三朝町に住みたいと言われる他所の方も結構おられ、特色ある教育を充実させながら、教育の質を高めていくことも重要かと思います。

議長 教育のあるところに人は集まると言われるくらいなので、三朝町独自の教育環境をアピールすればよいかもしれません。

町長 子どもの頃に三朝町をよく知ってもらい、大学卒業後は何年か経験を積みスキルも磨いて本町に帰って働く人、学校を出てすぐに働き本町に住みたい人も作っていく必要があるので、普段の協力や交流を地道に進める必要があると思います。

毎年100人減るのを50人に止めると、10年後は5,500人の町という目標で総合計画を作っており、そのためにはどうしたらよいか、色々な意見をいただき、分析しながら若い人の思考と併せて対策を講じる必要があります。

議長 自然減が多くなり人口が減る中で、都会のように転入が増えればよいですが、唯一東京を除く全国が人口減の状況では、どうにも避けられず、若い人達中心のプロジェクトチームを作って提言をいただくとういことかと思います。

司会 若い人たちは、交通の便や

雪が降らない等の環境や、職場に近いところに集まる傾向があっ出てしまうとの声もあり、三朝町がそれ以上に魅力的だと思ってもらうことが重要ではないでしょうか。

議長 子育てしやすいとか、土地が安いとか、三朝町も全然負けていないですが、あまり情報発信が上手でないと思ったりします。

町長 若い人たちのニーズを把握するのは大事なことで、最近5年間とかに転入された方にアンケートをお願いしてリサーチするのも必要かと思います。

高齢者対策について

司会 奥部では交通の便が悪く、高齢者は通院や買い物にも不自由される状況にあります。引っ越しや施設入所も簡単ではなく、何らかの支援が必要ではないでしょうか。

町長 公共交通対策を協議していますが、バスは観光ルートと生活ルートがあり、生活者の視点になっていないと思います。

バス停から遠い集落がたくさんあるので、例えば、村の中心地や公民館までバスが行く路線に変えるとか、高齢者の移動パターンが分かればダイヤを作ることも可能なので、バスの小型化やタクシーの使用など、これからは試験運行等で三朝町に合う形を作る方向に進まなければならないと思います。

議長 新聞で、登録をした人を村から出るとき乗せたり、帰るとき病院等によって連れ帰ったり、助け合う制度を見ましたが、問題はバスやタクシー事業者のことや事故のときの対応、他にもガソリン代を集めて白タク営業で捕



まった人もあるし、善意の人を生かす制度はできないものかと思えます。

町長 運行管理は難しいし、冬場の条件が厳しいので事業者委託するべきだと思います。

議長 以前の一般質問に、冬季だけでも集合住宅で生活してもらう案がありました。

町長 長年の生活で、連絡さえ付けば冬場も問題ないとの声もあって、自宅以外では福祉施設との考えが現実のようです。

司会 買い物支援についてはどうでしょうか。

議長 商品をみて選びたいとの思いから移動販売車は人気があります。

町長 町内の企業さんの共同体で運行するような形ができれば支援可能かもしれません。

終わりに一言

町長 問題点を先送りしないとの思いで取り組んできましたが、今年からは町として今やらなければならないこと、新しいことにもチャレンジしていきたいと考えています。

議長 大変有意義な対談でしたので、しっかり取り組みたいと思います。

司会

松原 成利委員長



議会構成

新体制に

令和元年11月20日に臨時会が招集され、議長に清水成眞議員、副議長に石田恭二議員が選任されました。また、任期満了に伴う議会運営委員と各常任委員会委員の選任も行われ、次のとおり新しい構成となりました。



町民と共に 歩む議会を！

清水 成眞 議長

この度、議長に就任いたしました。令和の時代を迎え、元号の持つ意味であります「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ。」このように明日への希望がもてるような穏やかな時代であってほしいと思います。

私達議会は、人口減少や少子高齢化、生活環境など時代の変化に対応するため、これまで以上に大きな役割を果たす事が期待されており、議会のあるべき姿を求めていく事が重要であると考えています。議会における様々な情報を町民の皆様へ発信し、情報共有を進めていく事が重要であり、議会が現在取り組んでいる内容を理解してもらうための努力が必要であります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



開かれた 議会を目指す

石田 恭二 副議長

町民の皆様方には、町議会に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

先の臨時会において、議員の皆様のご推挙により副議長に就任しました石田恭二です。その責務の重さに身が引き締まる思いではありますが、今後は副議長の職務を遂行すると共に、議長の補佐役として町政の推進及び議会の公正かつ円滑な運営に努めて参りたいと思います。

これから経験した事のない本格的な人口減少、少子高齢化社会が到来するなかで、町民の意見を聞き、皆様の望む方向性を把握し諸問題の解決に努力します。

議会運営委員会

町民の期待に応える開かれた議会を！



山口 博 委員長

議会運営委員会は、町民の皆さんに直接関係する事項を所管する委員会ではありませんが、議会を円滑に運営するために重要な委員会です。

また、議長の諮問に応じて議員定数問題や開かれた議会など議会改革に関する重要な諸課題を提起する役割を担っています。

町民の皆さんの期待に応えるべく、町民目線を意識しながら議会改革の諸課題に取り組んでまいります。



松原茂隆委員、石田恭二委員、遠藤勝太郎委員
山口 博委員長、松原成利副委員長



藤井克孝委員、清水成真委員、福田茂樹委員、山田道治委員
遠藤勝太郎委員長、松原成利副委員長

対話と連携

遠藤 勝太郎 委員長



この度の議会構成再編により委員長に就任させていただきました。常任委員会の職務権限は、部門に属する事務に関する調査及び議案、請願など審査することです。

町民の今一番の関心は新たな歴史をスタートさせた三朝小学校新校舎建設だと思います。

「みささっ子教育ビジョン」実現にむけた学校施設の建設に向けて、委員会として積極的に取り組んでまいります。

皆様からの御意見、御指導をいただきますようお願い申し上げます。

産業民生常任委員会

『先見の明』を持つ



松原 茂隆 委員長

産業民生常任委員会は町行政のうち、農林課、観光交流課、企画課、建設水道課、農業委員会、町民課に関する事項を所管する委員会です。

町では現在、人口減少や少子高齢化等に伴い、過疎化や活力の低下を招き、このことが様々な分野で課題を生む大きな要因になってきているものと感じています。

所管の諸課題に対し、私たちも自らが調査研究し、真摯に諸課題の解決に向けて取り組んでいくことができるよう、委員一丸となって努力して参りますので、皆様の御指導、御鞭撻をお願いいたします。



牧田武文委員、吉田道明委員、石田恭二委員、平井満博委員、
松原茂隆委員長、山口 博副委員長

議会広報常任委員会

議会活動をお伝えします

松原 成利 委員長



これから2年間、新しい議会広報委員が活動することになりました。議会広報は主に「議会だより」の発行と「議会報告会」の運営を担当しますが、中心となります「議会だより」は、近年実施しました紙面二色刷りや構成変更等の改善を今後も一層進め、皆様に興味を持って読んでいただけるよう、ご意見やご感想をお聞きしながら、読みやすい、分りやすい紙面作りを目指してまいります。町民の皆様に議会の様子がしっかりと伝わるよう、委員一同頑張りますので、よろしく願いいたします。



石田恭二委員、平井満博委員、山口 博委員
松原成利委員長、藤井克孝副委員長

常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

会計年度任用職員について
(非正規職員の適正な任用、
勤務条件の確保を目的に令和2年4月から導入される)

問 制度が導入されても人件費総額は変えずに運用するのか。

答 月額はやや減る可能性もあるが、期末手当支給で増える。

問 フルタイム職員の退職金が支給される。任用期間1年で毎回支給か。

答 最長5年間任用可能、退職時支給。

問 町では84人の非正規職員がおられるが、任用職員の対象か。

答 皆さんが対象。

ブロック塀改修事業費補助金
(100万円)

問 倒壊の危険と判断された件数は。

答 県が27件通知。撤去に15万円、フェンス等新設に10万円(いずれも上限)の補助が出る。

空き家の調査について

問 空き家の数と危険家屋は何件か。

答 空き家366件で危険なものは85件。道路に影響のある件数は36件。

問 持ち主に警告とか出されるか。

答 危険家屋については出す。この通知は建築基準法により法的な違反ということではなく、所有者に適正管理をしていただく趣旨。

産業民生常任委員会

保育施設の今後のあり方は

問 今回の方針(案)で示された3項目のうち、「保育リーダー設置」とは何か。

答 保育の質の向上のため、町内3保育園について、研修や保育に関する相談にのっていただく専門員の設置を考えている。

地籍調査の減額理由 (△700万円)

問 地籍調査費の700万円の減額理由は。

答 国の配分額の確定により、当初予算より700万円の事業費の減額となった。

学校跡地の利用検討状況は

問 旧東小及び旧南小跡地について学校跡地施設等利用検討委員会が設置されているが、いつまでに検討する予定か。

答 町の方針も含め、考える時間として今年度内をひとつの目標としている。

問 様々な検討会が設置され、その検討結果が町に出されると思うが、学校跡地施設の場合、どのような手順となるのか。

答 令和2年2月末を目安に報告書として町に出していただくよう検討を進めている。町は、これを踏まえ検討していく予定としている。

有害鳥獣の捕獲状況は

問 今年度の有害鳥獣の捕獲頭数の状況は、昨年度と比べてどういう状況か。

答 イノシシは昨年度520頭捕獲されたが、今年度は既に600頭捕獲されていることから、1.5倍になる見込み。シカについては1.2倍程度になる見込みである。



ブロック塀



保育施設のあり方

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

一般質問

あなたの声を 町政に

6人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、

臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
8	1. 豪雨災害への備えを万全に 2. 関係人口創出事業で活力を	松原 成利
9	1. 温泉を利用した地域振興と健康づくり	石田 恭二
10	1. 小学校施設の基本設計及び廃校舎の跡地利用について 2. 道路行政について	牧田 武文
11	1. 公共施設の管理と新校舎の整備について	山田 道治
12	1. 三朝小学校、中学校の教育環境のさらなる充実について 2. 大瀬地区の未整備田、ならびに、水路の整備、その先の宅地造成について	福田 茂樹
13	1. 折り返し2年の町政に松浦色を期待	山口 博

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、一般質問の録画放送を行っています。

防 災

問 豪雨災害への備えを万全に

答 今一度再確認し安全安心な町に

豪雨の備えは数段上げを

松原

秋の台風関連豪雨は、全国で想定外の規模などと言えない状況だったが、豪雨の備えは数段の引き上げが必要ではないか。

町長

想定外と形容される自然災害が全国で多く発生し、長野県に職員3名を派遣したところだが、本町でも今一度あらゆる災害への備えを再確認し、安全・安心な町づくりの努力を考えている。

河川の安全基準見直しと点検を

松原

町内河川の安全基準見直しと点検や補修が必要ではないか。

町長

天神川水系では国土交通省が定める昭和34年の伊勢湾台風相当での安全を基本方針に、橋や河川改修整備がなされており、牧地区も築堤が着工される。立木伐採や河川土砂の撤去も計画的に進められている。

三朝町防災マップ見直しと補正を

松原

三朝町防災マップの見直しと補正も必要ではないか。

町長

災害が激甚化している状況ではハード面はもとより、逃げ遅れゼロ、経済被害最小化を目標に取り組んでいる。防災マップは町民への周知と、その都度検証しながら見直していく。

役場周辺は危険個所ではないか

松原

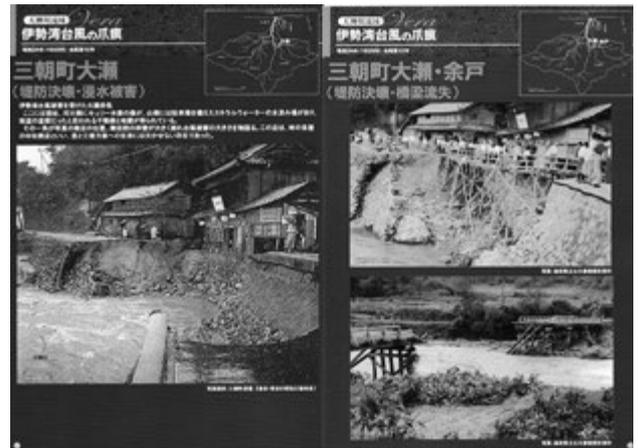
国土省見解では役場周辺は洪水想定区域ではないか、非常時に機能するのか。

町長

100年に1回、50～60cmを想定、それ以上ならまずは逃げていただく形態で進める。電源は1m弱かさ上げしている。



松原 成利 議員



天神川流域会議の「伊勢湾台風の爪痕」から引用

政 策

問 関係人口創出事業で活力を

答 輪の拡大は非常に大事なこと

奥部、中間地域の衰退への対策は

松原

奥部集落の消滅や中間地域の衰退が危機的状況だが、具体的施策はあるか。

町長

若い世代が極端に少ない中で避けて通れない状況だが、買い物、通院にはタクシー助成やバス定期券補助、社協の外出支援サービス等を実施しており、必要な手立てを講じていく必要がある。

関係人口創出支援ボランティア制度を

松原

地域を維持するために、(仮称)関係人口創出支援ボランティア制度を創設してはどうか。

町長

町の活性化のために関係人口の拡大は大事なことで、ふるさと納税等を通じた穏やかな関係の輪を広げることや、外部人材やプロフェッショナル等の力も活用する必要がある。ボランティア制度のようなものがよいのか、地方創生とあわせて考えたい。

問 温泉を地域振興と健康づくりに活用を

答 産官学連携で三朝温泉の個性を生かす

町民に入浴料割引制度の導入を

石田

健康増進と地域振興の活性化のため、町民に、入浴・宿泊などの各施設使用料の割引制度導入を考えてみてはどうか。

町長

例えば、毎月26日が風呂の日、年に一回、11月26日をいい風呂の日とすると言った事で町民の入浴料割引をするという事にすれば、温泉に親しんでいただくことができ、温泉施設や旅館さんの事を知っていただけるよい機会になると思う。



公衆浴場

町民の温泉活用促進

石田

地元の町民が、温泉を知らずに育っていくのを防いで行くべきと思うがどうか。

町長

町民は、やはり三朝の温泉は町の誇りだと強い思いを持っておられる。これから病気予防、健康増進の為に温泉を使うということも身近になるような形を整えていきたい。

ブランナールみささ

石田

ブランナールみささの温泉施設は、低価格で気楽に利用できたイメージが強かったが、値上げされた事が周知されてなく、町民が困惑している。町として何らかの対策がとれなかったか。

町長

ブランナールは町として民間に運営を任せており、事業者の判断で経営として成り立っていくことが大原則。町民が温泉の享受を受けるとい議論をするとなれば、ブランナールから切り離しをして別な形で考えていく必要がある。



石田 恭二 議員

観光協会の入浴体験企画案について

石田

小・中学生は、三朝の宝である温泉やその文化に触れる機会がなく、解らないといった声がある。観光協会では、小・中学生を対象とした三朝温泉招待DAYを実施し、三朝の湯を誇りに思い、県外であっても地元の情報発信を担うような人材となるように願い、観光振興への住民理解を高めたいと考えているが、町長はどう思うか。

町長

地域の資源を学び体験し、自分の中で町の財産として意識を高めしていく事は大事な事。非常にいいことだと思うので、町ができることは協力したい。



ブランナールみささ

学 校

問 基本設計のスケジュールを見直す考えはないか

答 専門家の意見を聞きながら、明確な校舎像を示し進めていきたい

小学校施設のあり方

牧田

小学校建設に時間がかかって、場所を定めてからの基本設計委託が望ましいのでは。

教育長

基本設計事業を行う中で、時間をかけて丁寧に、望ましい校舎像、適切な校舎像を検討し、明確な校舎像を示した上で、広さや場所を協議、検討していく手順を想定している。

牧田

小学校は新築なのか。

町長

基本設計の過程の中で位置や建物の内容を考えていくため、教育委員会の報告も受けながら、判断していきたい。

望ましい校舎像の詳細は

牧田

「望ましい校舎像」で具体的に不足する機能は何か。



三朝小学校校舎



牧田 武文 議員

教育長

近隣の学校施設調査をもとに、新築された校舎の平均値を「望ましい校舎像」としてまとめたが、現在、この結果を精査しながら不足する機能や学校規模等を検討している。

廃校舎を解体する考えは

牧田

学校跡地について、廃校舎を解体する考えはないか。

町長

現在、学校跡地施設等利用検討委員会で検討がされているところだが、利活用だけでなく解体を含めて多岐にわたって議論されており、委員会での検討結果を待ちたい。

道 路

問 本町を通る自動車専用道、山陰道へのアクセスの早期実現を

答 関係組織や県と協議していきたい

早期実現に向けて町長の決意は

牧田

20年ほど前の中山、三朝、鳥取河内、鳥取への自動車道構想はどうなったか。

町長

以前、周辺自治体で期成同盟が発足したが、道路整備状況が厳しく休止となって久しい。山陰道、313号線道路などの整備状況を見極めながら県などとも協議していきたい。



自動車専用道路

公共施設

問 財政の裏付けのある公共施設を

答 判断できるものを示す必要がある

新しい公共施設には財政負担の裏付けを

山田

三朝町公共施設等総合管理計画には、耐震工事を行ったものは長寿命化を図り、必要なものは費用対効果を考えて行うとある。財政負担の裏付けなしには、新校舎は前に進まないのではないかと。

町長

きちっと財政の裏付けを立て、皆さんに議論・検討していただくようなものを出していくことは大事だ。

真の命題の対偶も真である

山田

少子高齢化に対応した持続的な町を作るために管理計画が出てきたと思うが、間違いないか。

町長

その通りだと考えている。

山田

ということは、管理計画が実行できなければ、持続可能な町はできないことになるがどうか。

町長

基本的な事項としてはそうであるが、施設がその全てに当てはまるわけではなく、そうでないケースも出てくると思っている。

管理計画に数字の裏付けを

山田

10年計画で作られた管理計画は5年近くになるが、早急に数字の裏付けがなされるべきだ。

町長

町の全体計画の中で、先送りしないで進めていきたい。



山田 道治 議員

新校舎建設にはグランドデザインを

山田

中学校も間もなく築後60年を迎える。恐らく点検修理で何年か引き続き使うだろう。小学校も何年か使って「小中同時に」ということを考えるべきではないか。

町長

中学校は、一度大規模改修しており、20年、30年は大丈夫だと思っている。小学校は財政の裏付けなしには着手できないと思っている。

今後お互いに議論ができて、いい方向に向かえばいいと思っている。



スポーツセンター



三朝中学校校舎

問 小学校、中学校の教育環境の充実をすべき

答 教育委員会が、点検、協議、改善に努める

パソコン等の設備の前倒しを

福田

私は、パソコンの前倒しによる整備、パソコン等の専門的な人の配置が必要と考えるが。

教育長

ICT機器の整備と専門家による支援については、今後、学校での活用状況を考慮し計画的に整備、更新していきたい。

ICT支援員については、派遣時間を増やすことを考えたい。



学校へICT機器の整備を

小学校に心の相談員の配置を

福田

小学校における心の相談員の必要性を考えるが。

教育長

まずは、それぞれの家庭でしっかり見守っていただくことが大事と考える。

働き方改革

福田

三朝町の小学校、中学校の教職員に対して、教育委員会として今まで以上に配慮が必要と考えるが。



福田 茂樹 議員

教育長

教職員の勤務時間を考え学校閉庁日を設定し、それをすすめていく。

労働環境という観点から学校を見ていくと、色々な面から非常識な所が多くみられる。教育委員会がしっかりと点検、協議し、改善に努めなければならないと考える。

問 大瀬地区の未整備田、水路の整備を

答 どういう方法がとれるのか研究

未整備田の今後は

福田

大瀬地区で農業を行っていく環境整備ができていない。

町長

10年間、農地として活用できるという土地が多ければ、農地の土地改良で考えれば。

水路整備は

福田

50年前の水路が使われ、災害に対する備えになっていない。

町長

水害や火災等の対応だとか集落の防災対策としての必要性もある。

将来に向けての宅地造成は

福田

土地区画整理などを行政主体で行ってほしい。

町長

関係者の皆さんと行政が協力しなければならぬ案件で、どういった方法がとれるのか研究する。



大瀬区

政策

問 既存事業の整理で三朝町独自の諸施策を

答 既存事業を徹底的に見直して諸施策に取り組む

3 小学校統合、保育料無償化、保小中英語教育事業を評価

山口

子育て・教育の面で、公約の3小学校の統合実現、国策ではあるが保育料無償化の実現は評価したい。

町長

念願の3小学校の統合が実現でき、今後は教育環境の一層の充実に努めていきたい。

既に取り組みを始めた、保育園・小学校・中学校における一貫した英語教育プログラムを町独自の子育て・教育の大きな事業として推進している。



保育料無償化

町政の見える化は進んだか

山口

公約の町政の見える化は進んだか。

町長

行政無線などによる情報発信など見える化に努めた。今後は、じげトーク、若者との意見交換など一歩踏み込んだ働きかけをしたい。

諸施策の取り組み状況は

山口

少子高齢化対策・観光振興策・農林振興策の進行状況は。

町長

一般質問の都度、諸施策の進行状況を振り返る機会としてきた。一つ一つの積み重ねで事業を進めていきたい。

第11次総合計画の繰り上げ策定で既存路線とは違う松浦色を期待

山口

町長は、今後10年の三朝町の設計図である第11次総合計画を繰り上げて策定し、町民は既定路線とは違う松浦町政を期待している。



第11次総合計画冊子



小学校統合



山口 博 議員

町長

町政を共通認識をもって推進するため、大きな事業として町政の基軸となる第11次総合計画を策定した。

松浦色を出すということは、仕事の手法を変えたり、町づくりのやり方、説明の方法、あるいは役場の仕事の仕方などを変えていくことと思っている。

今後、既存事業の見直しで他市町には無い三朝町独自の諸施策を

山口

小学校建設を控え、財政事情の厳しい三朝町ではあるが、既存事業の徹底的な見直しで他町の追随でない諸施策の立案、推進が必要である。

町長

予算編成に際し、既存事業の徹底的な見直しを指示し、本当に必要かどうかの視点で進めるようにしている。



三朝中学校2年
林 慶太

大人になってもふるさとを大切にしたい

僕は自然豊かで笑顔で溢れる三朝町が大好きです。今この場所で暮らしている事を幸せに思っています。

この町には誇れる観光資源がたくさんあります。三朝温泉や国宝である三徳山は、観光客をたくさん集め、町の活性化を促進しています。さらに、この町に観光客を呼び込むために、香川県のうどんのようにひとつのことにこだわり、全国からそれを求めて「三朝町を訪れたい」と思わせるようなものを考えてみてはどうでしょうか。最近はお店でも専門店が流行していますので、ひとつのことを追求して販売することで人が集まるきっかけになると思います。

また、僕の生活は町の補助や地域の方々に支えられています。中学校ではフランス、台湾との国際交流で貴重な経験をする事ができ、僕自身も外国への関心が高まっています。このような経験は自分の財産となりこれからの生活においてもとても役立つと思います。

僕は10年先、100年先も魅力的な三朝町であるように、大人になってもふるさとを大切にしたいです。

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果	
		松原 成利	松原 茂隆	石田 恭二	吉田 道明	山口 博	藤井 克孝	遠藤勝太郎	福田 茂樹	平井 満博	山田 道治	牧田 武文		清水 成眞
町長提出議案名														
(12月定例会)														
35	令和元年度三朝町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	令和元年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
37	令和元年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38	令和元年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	令和元年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
40	令和元年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	令和元年度三朝町水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	三朝町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	三朝町町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	三朝町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	三朝町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案名														
議4	三朝町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※清水成眞議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 12月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
桜を見る会の実態解明を求める意見書の提出についての陳情	倉吉市 足羽 佑太	趣旨採択	国の関係機関の中で議論されるべきことである。
公共放送の運営に係るコンプライアンスの徹底及び、消費者保護体制の強化を求める意見書の提出についての陳情	倉吉市 足羽 佑太	趣旨採択	法に基づき国で監督されるべき事項であり、地方議会の権限に属する事項ではない。

発行責任者 清水 成眞
編集 松原 成利
議会広報常任委員会
委員長 藤井 克孝
委員 山口 博
委員 平井 満博
委員 石田 恭二

（松原成利 記）
大晦日から新年にかけて少し天気が崩れましたが、年末、正月を過ぎて、冬とは思えない暖かい日々が続く中、周辺を片付けたり、餅つきや、しめ縄作りなど、年越し準備を終えました。皆さんも色々な思いを持って新年を迎えられ、正月行事「初詣」や「どんど」などに当られたことと思います。私は令和元年に台風や大雨などの大きな災害があったので、早い復興と共に、令和二年が平穏な一年でありますように、また、個人的には平凡ですが、自身や家族の健康を一番に願いました。今年も一年間、良いことがたくさんあって、笑顔で暮らせるように頑張ろうと思う年初めでした。

